

消 防

全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」
 11月9日～15日は、秋季全国火災予防週間です。火災が発生しやすい時季を迎え、市民一人ひとりの心がけが必要です。



市内の火災発生状況

平成23年中に市内で発生した火災は52件で、22年中に発生した37件を15件上回っています。
 内訳は、建物火災40件、車両火災5件、その他の火災が7件。
 出火原因は、たき火と放火（疑い含む）が多く見られ、コンロやタバコが後に続きます。
 なお、今年の火災発生件数は10月14日現在34件と、乾燥季を前に22年の発生件数に近づきつつあります。

市内での火災予防運動にご協力ください

秋季全国火災予防週間（11月9日～15日）の期間中、午前7時に防災無線によるサイレンを吹鳴します。また、消防自動車による火災予防啓発パレードも行いますので、火災と間違えないでください。

火災を起さないために

身近に発生する火災の原因とその予防方法について、筑西市内を管轄する筑西消防署の柴管理課長にお話を聞きました。



筑西広域市町村圏事務組合筑西消防署管理課長 しば しゅういち さん
柴 修

「たき火からの引火に注意！」

市内で多く見られる火災原因です。火が消えたと思つてその場から離れても、実は消火が不十分で、風に乗った火種が建物に引火することがあります。

ポイント
 最初から最後まで目を離さず、後始末はしっかりとしましょう！

「実は多い放火に注意！」

火の気のないところに火災が発生する事例があります。

ポイント
 家や店舗の周りに、段ボールなどの燃えやすい物を置かないように、常に片付けましょう！

「危ないのは、寝タバコ」だけじゃありません！」

タバコは、しっかりと処分しないと火災につながる場合があります。危険です。例えば、他のゴミが入った袋と一緒に入れたために出火したり、ガラスの灰皿に吸い殻を大量に放置したために熱をもち、ガラスが割れて畳に引火するなど、予想外の火災につながってしまいます。

ポイント
 灰皿はこまめに掃除し、水で完全に消火してから捨てるなど工夫しましょう！

「最大のポイント！」

火災発生時は、早期発見・通報が重要です。火災を発見したら躊躇せず、すぐに119番通報してください。

消防法改正により、一般家庭も**住宅用火災警報器等の設置が義務付けられています**。警報器のお陰でボヤで済んだ事例もあります。未設置の家庭は早めに取り付けましょう。

問い合わせ
 筑西消防署 ☎24-4504

消防団

地域を守る みんなで守る

筑西市消防団は、平成17年の4市町合併と同時に新たに誕生しました。現在は43分団、団員834人で構成。団員はみな会社員や自営業の人など、有志からなります。

消防団の活動といえば、火災発生時の消火活動です。火災が発生すると、消防団員が各自集合してポンプ車を出動させ、消防署と協力して消火活動に努めます。

また、水防訓練や操法訓練の他、各小学校的防災訓練（関連：表紙）にも参加し、市民の防災意識の高揚にも一役買っています。



筑西市消防団長 とみた ひろし **富田 宏司**さん

市民の安心・安全を守ることが、消防団員としてのやりがいです。

そう語るのは、筑西市消防団長の富田さん。25歳で入団し、団員や家族に支えられながら活動を続けてきました。

「災害のない町を目指して、一緒に地域を守りませんか。市民の安全と絆を守る消防団に、ぜひ参加してください。」

*現在、野焼きは原則禁止されています。詳しくは、「ピープルお知らせ版」10月15日号をご覧ください。

<p>(関連施設) 下館パークゴルフ場、 広沢公園・児童園、広沢学園、 下館オフトードコース、 マウンテンイクオフトードコース</p>	<p>11月3日(土) 晩秋杯 セルフ 13,000円</p>	<p>完全セルフデーのご案内(まわり放題) 11月/ 1(木)・2(金)・5(月) 9(金)・16(金)・26(月) 30(金)</p> <p>※ コンベ等のご予約により、通常営業となる場合がございます。 プレ料金 5,200円 (まわり放題・昼食なし) ★現金による前払い ★ロッカー使用可 ★お食事持ち込み可 ★割引券の使用はご遠慮下さい ★クラブハウス施設利用不可</p>
	<p>11月28日(水) 第10回茨城放送杯 セルフ 11,000円</p> <p>料金には、朝食代(バイキング形式)・昼食代・税金・パーティー費・参加費を含みます。 ※ご参加は1名様から申し込み可。 ※18Hストロークプレー・新ベリア方式。 ※キャティ付は4名様1組10,000円でご用意いたします。</p>	
<p>下館ゴルフ倶楽部 (公社) 日本パブリックゴルフ協会加盟コース 筑西市茂田ザ・ヒロサワ・シティ TEL.0296(20)1111</p>		

防犯

筑西警察署管内の刑法犯は昨年「1,496件」

県内の刑法犯の認知件数は、平成14年に67,000件余りを記録しました。

犯罪件数の多さから「地域の安全は自分たちで」と叫ばれるようになり、自主防犯活動団体が年々増加し、警察との連携を図って防犯対策をとってきた結果、平成15年から昨年まで犯罪が減少してきました。

筑西警察署管内でも同様に減少し、昨年は1,496件と筑西警察署となってから初めて1,500件を割りました。今年も昨年を下回るペースで推移しています。

「二つ二つの事件の実態を見てみると」

犯罪件数は減少していますが、一つ一つの事件を見てみると、空き巣、忍び込み、車上狙い、乗り物盗が後を絶ちません。

みんなであつくりたい安心の街

安全で安心して暮らせる地域社会の実現はみんなの願いです。

これらの被害の大きな特徴は、無締まり、つまり鍵をかけずに被害にあっていることです。空き巣の約45%、自転車盗の74%、忍び込みにあってはなんと100%が鍵をかけないで被害にあっています。



車上荒らしがあなたの車を狙っています

「侵入犯罪」防止対策

「家の窓のすべてに鍵を」

ポイント 空き巣の犯行時間は非常に短く、わずか10分程度。「ちよつとそ

こまで」とつい鍵をかけなかつたときに狙われるのです。第一の防犯方法は家の鍵をすべ

「見通しの良い外構えを」

扉やベランダの囲いは、死角にならないように格子タイプにする

るのが効果的です。

また、多額の現金は家の中に保管せず、通帳・印鑑・キャッシュカードはそれぞれ別々に保管するようにしましょう。

「泥棒が嫌がる家にしましょう」

ポイント トイレや浴槽の窓には格子を設置する、2階以上への侵入の足場をつくらない、窓には二重ロックをする、家の周りの照明を明るくする、敷地の周りには死角をなくすようにしましょう。

「車の中には物を置かない」

ポイント 車上狙いは、スーパー等の駐車場よりも個人宅やアパート駐車場で

の被害が多く、ほとんどが窓ガラスを叩き割られています。中には空の段ボール個を積んでいただけで窓ガラスを割られたケースもあります。筑西警察署では「車の中には貴重品は置かない」ではなく、「車の中には物を置かない」運動を展開しています。

その振り込みちよつと待った!

「振り込め詐欺についても注意を払いましょう」

色々な手口の振り込め詐欺が後を絶ちません。

被害を防止するために、あらかじめ家族で被害防止対策を話し合っておく。犯人の巧妙な話術や犯行手口で被害にあう事例が見られることから、常時留守番電話に設定しておき、犯人との直接会話を遮断するなど被害防止に努めましょう。



いろいろな手口の「振り込め詐欺」が後を絶ちません。対応は落ち着いて。

問い合わせ

市民安全課 内線458



オープンコンペのお知らせ 参加費用 お一人様 ¥1,500(税込)

10/27 (土) 隠しホール大会

11/3 (土) 筑波チャレンジカップ

11/15 (木) 大島スポーツ

アシックスカップ ※参加費 2,500円

関東最大級 45ホール

下館パークゴルフ場 国際パークゴルフ 筑西市茂田ザ・ヒロサワ・シティ

協会公認コース TEL.0296(22)4189

就職氷河期に、求人が10倍 歯科医師のハートフルなサービス 歯科衛生士

体験入学 学生募集

11/24

高い国家試験合格率 就職率100%の実績校

ホームヘルパー2級資格取得

学校見学 受験相談も受付中

独自の奨学金制度 無料スクールバス

が実行します(下館駅より)

つくば歯科衛生専門学校 筑西市茂田ザ・ヒロサワ・シティ TEL.0296(23)1220

決算報告

平成 23 年度の一般会計、特別会計、公営企業会計（水道事業、病院事業）の決算がまとめられ、市議会 9 月定例会で認定されましたのでお知らせします。

平成 23 年度の一般会計の決算は、歳入決算額が前年度比 1.1% 増の 412 億 8,773 万 3 千円、歳出決算額が前年度比 1.8% 減の 386 億 9,877 万 7 千円であり、歳入歳出差引額は 26 億 7,855 万 6 千円、翌年度に繰り越すべき財源 2 億 8,773 万 3 千円を差し引いた実質収支額は、23 億 9,012 万 6 千円の黒字となりました。しかしながら、人口減少や地域経済の停滞など、本市を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、財政運営は今後厳しさを増していくものと予測されます。



歳入決算の状況

歳入については、法人市民税が 2 億 5,553 万 3 千円の増等により市税全体では 5 億 6,912 万 2 千円、新設の震災復興特別交付税により地方交付税が 3 億 6,317 万 2 千円、県支出金が 4 億 2,454 万 6 千円のそれぞれ増、繰越金が 5 億 5,112 万 6 千円の減となりました。

歳出決算の状況

歳出については、教育費が 8 億 4,827 万 9 千円、衛生費が 4 億 4,803 万 3 千円、民生費が 2 億 3,357 万 9 千円のそれぞれ増となり、総務費が 26 億 4,094 万 1 千円、土木費が 4 億 6,762 万 2 千円、消防費が 1 億 2,147 万 8 千円のそれぞれ減となりました。

参考：平成 22 年度 決算状況 (単位：千円)

歳出	22 年度	歳入	22 年度
民生費	11,832,227	市税	14,595,121
総務費	8,044,595	地方交付税	8,307,323
教育費	4,423,926	国庫支出金	4,988,521
公債費	4,346,921	市債	3,920,900
衛生費	3,605,601	県支出金	2,479,582
土木費	3,480,495	繰越金	2,073,730
消防費	1,745,976	地方消費税交付金	1,025,147
農林水産業費	1,369,960	諸収入	834,699
その他	478,840	地方譲与税	728,603
計	39,328,541	その他	1,897,519
		計	40,851,145

特別会計決算 (前年度比較)

(単位：千円・%)

歳入	23 年度	22 年度	増減額	伸率
国民健康保険	12,483,437	12,200,467	282,970	2.32
老人保健	0	3,492	△ 3,492	△ 100.00
後期高齢者医療	1,711,008	1,662,663	48,345	2.91
公共下水道事業	2,357,666	2,430,197	△ 72,531	△ 2.98
農業集落排水事業	726,113	724,632	1,481	0.20
八丁台土地区画整理事業	393,672	319,469	74,203	23.23
駐車場事業	41,327	87,058	△ 45,731	△ 52.53
介護保険	6,576,155	6,417,429	158,726	2.47
介護サービス事業	75,464	71,020	4,444	6.26
計	24,364,842	23,916,427	448,415	1.87

歳出	23 年度	22 年度	増減額	伸率
国民健康保険	11,922,125	11,878,578	43,547	0.37
老人保健	0	3,492	△ 3,492	△ 100.00
後期高齢者医療	1,690,816	1,609,811	81,005	5.03
公共下水道	2,252,226	2,358,376	△ 106,150	△ 4.50
農業集落排水	693,873	675,747	18,126	2.68
八丁台土地区画整理事業	387,597	292,450	95,147	32.53
駐車場事業	31,373	76,023	△ 44,650	△ 58.73
介護保険	6,443,598	6,211,201	232,397	3.74
介護サービス事業	61,771	63,265	△ 1,494	△ 2.36
計	23,483,379	23,168,943	314,436	1.36

平成23年度決算に基づく

財政健全化指標等の状況

実質赤字比率 該当なし

福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すのが「実質赤字比率」です。

早期健全化基準 12.06 財政再生基準 20.00

連結実質赤字比率 該当なし

特別会計や公営企業を含むすべての会計の赤字や黒字を合算して、市全体としての赤字の程度を指標化し、全会計の財政運営の深刻度を示すのが「連結実質赤字比率」です。

早期健全化基準 17.06 財政再生基準 30.00

実質公債費比率 14.0

市の借入金にかかる元金及び利息の支払いにかかる経費の合計額が標準財政規模*に対してどのくらいの比率になっているかをみるもので、資金繰りの危険度を示すのが「実質公債費比率」です。

※標準財政規模…通常収入されるであろう経常的な一般財源（税や交付金等）の規模。本市の平成23年度標準財政規模は253億3,333万円。

早期健全化基準 25.00 財政再生基準 35.00

将来負担比率 48.6

市の借金や将来支払わなければならない負担金などの残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すのが「将来負担比率」です。

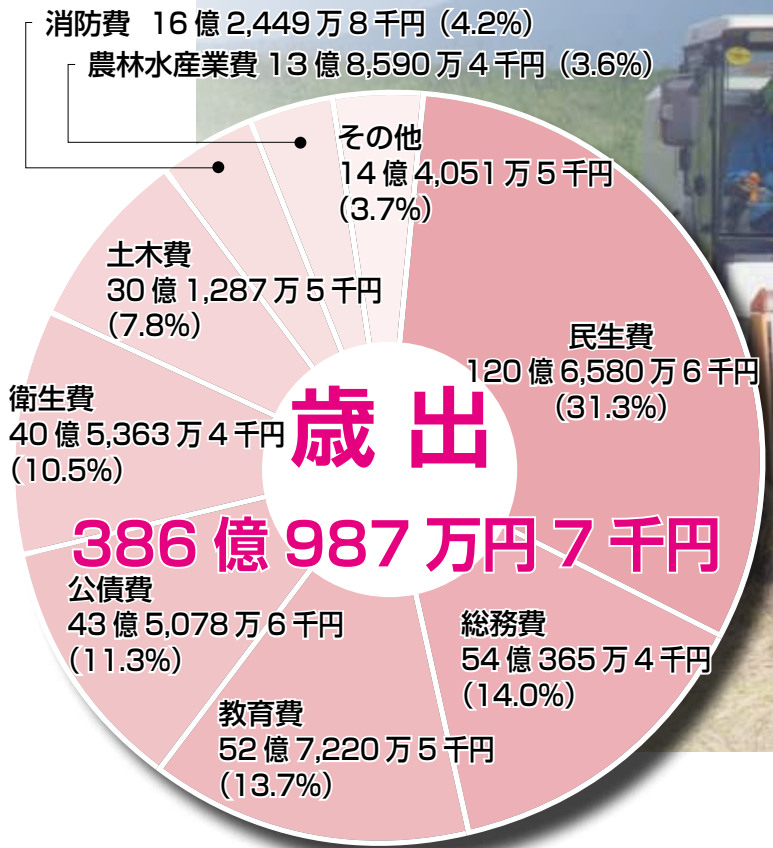
早期健全化基準 350.0

資金不足比率 該当なし

公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すのが「資金不足比率」です。

経営健全化基準 20.00

本市では、いずれの指標も国が定める財政の早期健全化や再生を図る基準を下回っています。



平成23年度実施した新規事業

- 男女共同参画都市宣言事業
- 住宅リフォーム助成事業
- 基幹系業務システム再構築事業
- 農業支援センター事業
- プレミアム商品券発行助成事業
- 福祉相談窓口事業
- 下館駅周辺整備事業（設計業務）
- 健康相談24事業
- 川島出張所整備基本構想策定事業
- 認定こども園せきじょう管理運営事業
- 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業

企業会計決算（前年度比較）

（単位：千円・%）

歳入	23年度		22年度		増減額	伸率	歳出	23年度		22年度		増減額	伸率
	金額	伸率	金額	伸率				金額	伸率	金額	伸率		
水道	2,417,062		2,469,649		△ 52,587	△ 2.13	水道	3,263,814		3,109,113		154,701	4.98
収益	2,018,382		2,098,894		△ 80,512	△ 3.84	収益	1,905,015		1,892,340		12,675	0.67
資本	398,680		370,755		27,925	7.53	資本	1,358,799		1,216,773		142,026	11.67
病院	2,318,663		1,991,836		326,827	16.41	病院	2,280,081		1,972,674		307,407	15.58
収益	1,826,650		1,938,437		△ 111,787	△ 5.77	収益	1,788,070		1,919,281		△ 131,211	△ 6.84
資本	492,013		53,399		438,614	821.39	資本	492,011		53,393		438,618	821.49
合計	4,735,725		4,461,485		274,240	6.15	合計	5,543,895		5,081,787		462,108	9.09

市民1人当たりの市税負担と行政サービス費用

■市税負担額
14万840円

市民税 6万6,028円 (46.9%)
固定資産税 6万758円 (43.1%)
その他 1万4,054円 (10.0%)

■行政サービス費用
36万72円

福祉や教育、住環境の整備など一般会計の合計（特別会計、企業会計を除く）

※平成24年3月1日現在の常住人口から算出